

日南町で行われている養蜂の様子を取材してきました

10月16日、日南町で養蜂を行っている「日本ミツバチの会」の池岡利行さんにお話を伺ってきました。養蜂歴55年のベテランの方です。

池岡さん:天然の日本ミツバチは、木の空洞に巣をつくります。日南町の場合は杉の木に作る場合が多いです。森林が管理されていると、光が差し込むので、ミツバチも元気に活動できます。

養蜂の楽しさは、蜜を採取する時が最高です。自分が育てたミツバチが増えていくのがとても楽しいし、可愛いと思います。自分の子供みたいな感じです。蜂蜜は非常に貴重なものですが、今度日南町に出来る道の駅で販売することも考えています。



記者より:池岡さんは日南町の山で森林作業や茸採りをされ、川では大物の鯉を釣り上げたりと様々な活動や趣味を持たれてます。日南町の豊かな自然の中で生き生きと作業をされている姿に私も元気をもらいました。これからも日南町の自然や生き物について色々な事を教えて頂きたいと思いました。

手入れされた森林は、様々な生物を宿し、そして様々な産業へと繋がっています。

山を守ることは地域の資源を守り、地域の生活を守る事であると、改めて感じました。

池岡さん、取材へのご協力ありがとうございました。

林業研修生の高性能林業機械の操作実習が始まりました

日南町では平成21年度より林業研修生の受け入れを行っています。町では研修生の技能の向上を図る為に、高性能林業機械をレンタルで導入し、平成27年9月より操作の為に学科講習と実機での研修が行われています。伐採後の集材・運搬作業まで一連の流れを出来る様になり、より実践的な研修が行われています。

卒業生の多くが就職する町内の素材生産業者からも即戦力として操作経験者を望む声がありました。研修生が機械の取り扱い方や操作技術について学ぶことで、地元の企業に必要とされる人材を育成することが可能となります。自治体単独での高性能林業機械の導入は、全国的にも珍しいとの事です。



山林情報バンク事業開始にあたり、皆様のご意見・ご相談をお伺いします

NPOでは、「山林情報バンク事業」を進めています。事業推進にあたり、町外山林所有者様の山林に対するご意見、ご相談等がありましたら、ご連絡をお願いします。ご意見等は、役場・森林組合等、然るべき部署に連絡いたしまして、問題の解決への方法を探ってまいります。(山林情報バンク担当:池田)までお願いいたします。